

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	当院救命センターにおける脳動脈瘤性くも膜下出血に対する高酸素血症と遅発性脳虚血・神経学的転帰の関連についての後方視的研究		
② 実施予定期間	2019年04月01日から2019年12月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院救命センターに入室し、急性期に脳動脈瘤に対する治療が行われた脳動脈瘤性くも膜下出血の患者さん		
④ 対象期間	2011年01月01日から2017年06月30日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	先進救急医療センター、脳神経外科		
⑦ 研究責任者	氏名	鶴田 良介	所属 救急・総合診療医学
⑧ 使用する情報等	診療録（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、重症度、血液ガス分析、CT所見、人工呼吸の有無、遅発性脳虚血の有無、退院時の神経学的評価など）		
⑨ 研究の概要	くも膜下出血は高い死亡率と後遺症の可能性のある病気です。後遺症に与える影響として、遅発性脳虚血の発症が大きく関係しますが、この原因はいまだに解明されていません。近年、様々な脳障害の患者さんにおいて高酸素血症が脳に悪影響を与えるという報告が相次いでいます。一方、くも膜下出血に対する高酸素血症が与える影響についての報告は少なく、結果も相反するものです。酸素療法はくも膜下出血の患者さんに対しごく一般的に使用されているため、その解明は急がれます。このため、脳動脈瘤性くも膜下出血の患者さんに対する高酸素血症と遅発性脳虚血・神経学的転帰の関連について調査を行います。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 2月 25日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	救急・生体侵襲医学講座運営交付金		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 担当者：福田信也		
	電話	0836222343	FAX 0836222344